



H24.7.23採取	合否	温度		
<p>峠の湧水上段(名水) あんりさん: 地元の方がおいしい水としてとても大事にしています。東小学校では裏千家の先生にお願いして野点を体験しました。花崗岩の地層から染み出た水で、昔からの作法にのっとって入れたお茶はとても大変美味しく、この湧き水を大切にしたいと思いました。 東小: 現在、毎日この水を汲んできてはお茶を入れるなどして飲んでいきます。美味しいお水です。 地元の方:「きつねくぼ」という場所があり、弥生時代より社があり、隠れ家等があったのではと研究者が調査している様子。この湧水はボーリングしてこの場所に引いている。水道のないころは利用していた。峠には昔、学生村があり、当時を懐かしんで社会人になった学生が水を飲んだりしていた。</p>	適合	11℃		
<p>峠の湧水下段 上段の水よりも水量がある。ここもボーリングして生活水として利用していた。峠は水がないところと言われていたが、昔からの湧水があり、生活が営まれていたのだと感じる。</p>	適合	12℃		
<p>水明山 嶺岳寺 嶺岳寺の湧水は水明山嶺岳寺の山号(さんごう)にもなっている名水で、天正17年(1589年)以来の歴史があり、以来約450年間、枯れることなく湧き続けている。現在のように水道が普及していなかった江戸、明治、大正、昭和を通じて、近隣住民の欠かすことの出来ない生活水源であった。現在も利用されている。 伊那の巡礼の札所、33箇所中29番の目で、お寺を詠んだ句もある。 この水源は山の中にあり、池になっており、昔の人が漬物をするために菜や大根を洗っていた。町営水道が出来る前は井戸水として利用。神社や近所の家へに配管し、水を引いていたとのこと。 ※住職が手入れする5万株もの彼岸花が最近では有名です。株分けをし、肥料を施し、手入れをされているとのこと。毎年、9月のお彼岸以降29日が一番の見頃だそうです。花は3日で終わってしまいます。</p>	適合	15℃		

H24.7.23採取	合否	温度		
<p>三柱神社の湧水 神社の上から引いてきている。沢にはわさびも自生していたが、沢ガニを猪が取るために荒らし、わさびもなくなってしまっている。 神社を利用する皆さんに親しまれている。</p>	<p>不適 大腸菌が 検出され ました</p>	<p>18℃</p>		
<p>増野の一杯清水 増野は戦後の開拓地で家はなかったが、縄文時代には人の住んだ形跡があり、この清水のまわりで人々の暮らしがあったと思われる。山へ登ってきて仕事をするとときに飲んでいました。鉄分が多いらしく、水道のない頃は利用していた。町営水道となってからは、パイプを外し、北沢さんが石を積み、東屋を作り、大切にしている。</p>	<p>不適 PH値が 低く酸性 です。</p>	<p>10℃</p>		
<p>上片桐 高津喜之さん宅 近隣の家の湧水は中央道の関係で枯れてしまったが、我が家は存在する。一昨年、中部公衆に水質検査を依頼したら飲み水としてもOKだった。近所の方はお茶を入れるのにおいしい水だと汲みに来ることがあった。昔は酒、しょう油を醸造していた。この水があり、そういった商売も出来ていた。見ることは出来ないが横穴を掘り、石垣が積んである。そのずっと奥から水が出てきている。いけすにはあまごを買っている。すんだ水ですくすく育ちます。以前はこの倍以上のいけすで酒やしょう油の樽を洗っていた。</p>	<p>適合</p>	<p>16℃</p>		

H24.7.23採取	合否	温度		
<p>大横沢上流の湧水 一年中、一定の温度。一定の水量。山へ何十年、何百年前に染み込んだ水が湧き出ているからだと思う。1年間は保管できる。腐らない。とても飲みやすい美味しい水です。道の整備がされると良いが。</p>	<p>適合</p>	<p>6℃</p>		
<p>鳩打峠の湧水 山へ登っていく道での最後の水場です。登山者の渴きを潤す、大切な水です。</p>	<p>不適 大腸菌が 検出され ました</p>	<p>8℃</p>	